

シンポジウム

参加費
無料

地域から ジェンダー平等を 2024

～都道府県版
ジェンダー・ギャップ指数をてこに

今年は「教育」分野の
ジェンダー平等実現について考えます。

教育は未来を左右する重要分野。
学ぶ機会のジェンダー・ギャップや
教育格差解消によって期待される効果について、
パネリストたちがディスカッションします。

キーワード

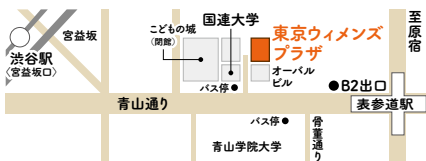
#女性活躍推進 #多様性
#ダイバーシティ #エンパワーメント
#男女間格差・地域格差
#理系女子 #女性リーダー育成



2024年10月31日(木)
13:00→16:00 12:30開場

東京ウィメンズプラザ ホール
東京都渋谷区神宮前5-53-67

アクセス 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線
「表参道」駅 B2出口・徒歩7分



参加方法

右の二次元コードから
お申し込みください

会場
先着200人

オンライン
定員なし



※会場参加は申込数が定員に達し次第、締め切らせていただきます

パネリスト

登壇者



大崎 麻子氏
Gender Action Platform
理事



河野 銀子氏
九州大学
男女共同参画推進室教授



石倉 秀明氏
山田進太郎D&I財団
常務理事COO



細川 志織氏
デリカウイング株式会社
管理本部経営企画部
教育担当室長



川崎 莉音氏
現役東大生
#YourChoiceProject代表



山脇 絵里子氏
共同通信社
編集局次長

モデレーター

お問い合わせ先

株式会社共同通信社内

シンポジウム「地域からジェンダー平等を」事務局

03-6252-6044

gendergap@kyodonews.jp

主催：共同通信社／共催：地域からジェンダー平等研究会／後援：内閣府男女共同参画局、文部科学省、全国知事会／協賛：アートネイチャー、井村屋グループ、キッコーマン、共栄火災海上保険、東京農業大学



アートネイチャー

kikkoman
おいしい記憶をつくりたい。

共栄火災



おいしいの笑顔をつくる
井村屋グループ



東京農業大学
TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE

女性がともに活躍できる社会へ



文部科学省

地域からジェンダー平等を2024

～都道府県版ジェンダー・ギャップ指数をてこに

登壇者プロフィール

パネリスト

おおさき あさ こ
大崎 麻子 氏
Gender Action Platform
理事

神奈川県出身。ジェンダーと国際協力・公共対策が専門。米コロンビア大国際公共政策大学院修了。国連開発計画勤務などを経て、2005年からフリーの専門家として国際機関、省庁・自治体、民間企業、NPOなどで活動。内閣府の男女共同参画会議の専門調査会委員、第68回国連女性の地位委員会日本代表なども務める。近著に『豊岡メソッド：人口減少を乗り越える本気の地域再生手法』（日経BP）。

かわの ぎん こ
河野 銀子 氏
九州大学
男女共同参画推進室
教授

徳島県生まれ。教育社会学が専門。大学で社会学、大学院で教育学を学んだ後、1996年に山形大学教育学部に講師として着任し教員養成に従事。2008年から理事補佐等として学内の男女共同参画を推進。23年10月から現職。大学進学や教員のキャリア形成についてジェンダー視点で分析する。『女性校長はなぜ増えないのか』（勁草書房）など著書多数。

いしくら ひであき
石倉 秀明 氏
山田進太郎D&I財団
常務理事COO

群馬県出身。早稲田大中退後、フリーター、契約社員を経て大手企業正社員、スタートアップ企業の上場、DeNAで人事責任者などを経験。2016年に株式会社キャスター取締役。24年2月から現職。メルカリ創業者が設立した財団の理事として、ジェンダーにかかわらず能力を発揮できる社会の実現を目指し、奨学助成金やSTEM(理系)領域の体験プログラム「Girls Meet STEM」事業を通じた中高生女子の支援に取り組む。

ほそかわ し おり
細川 志織 氏
デリカウイング株式会社
管理本部経営企画部
教育担当室長

横浜生まれ、広島育ち。上智大卒業後、JPモルガン証券に入社。結婚・出産を機に広島へUターン。食品製造・販売を行うデリカウイング株式会社で女性社員向けの研修等を担当する傍ら、広島大学で若手研究者の支援事業に8年従事。現在は、非常勤講師として地元の複数大学でキャリア形成などの講義を持つ。中国地域ニュービジネス協議会の女性活躍推進委員会委員長。広島市と共に転出超過問題への取り組みにも着手。

かわさき り おん
川崎 莉音 氏
現役東大生、
#YourChoiceProject
代表

2001年兵庫県生まれ。地元の女子高を卒業後、東京大法学部へ進学（現4年生）。友人と2人で特定非営利活動法人「#YourChoiceProject」を立ち上げ、23年に「首都圏以外に暮らす女子高生は偏差値の高い大学への進学にメリットを感じにくい傾向にある」という調査結果を公表。24年、東京大学総長賞受賞、米誌フォーブス日本語版「100通りの世界を救う希望『NEXT100』」選出。共著に『なぜ地方女子は東大を目指さないのか』（光文社新書）。

モデレーター

やまわき えり こ
山脇 絵里子 氏
共同通信社
編集局次長

東京外国語大卒業後、共同通信入社。2001年から社会部に配属され、厚生労働省や東京都庁などを担当。ストーカーやDV、女性の政治参画といったジェンダーを巡る課題に長年取り組んでいる。ニュースセンター整理部長などを経て、21年に女性初の社会部長。23年12月から現職。

国際
女性デー

International Women's Day

2024

あなたの地域の男女平等度合いは？

都道府県版ジェンダー・ギャップ指数（GGI）

スイスに拠点を置くシンクタンク、世界経済フォーラム（WEF）が公表している男女平等度の指標「ジェンダー・ギャップ指数」で、日本は世界最低レベルに低迷しています。では、都道府県別ではどうなのでしょう？ 「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」は、私たちの住む地域の男女平等の度合いを可視化するため、地域からジェンダー平等研究会がWEFとほぼ同じ手法で統計処理した都道府県別の指数です。

順位付けが目的ではなく、どの分野に男女格差が残るのかを知ること、足元の強みと課題を認識し、地域から日本のジェンダー平等を実現するのが狙いです。ただ、男女で性別を分けることに抵抗がある人もいます。格差が解消され、誰もが生きやすい、取り残されない社会が実現し、こうした指標は不要になることが目標です。

2024年の都道府県版
ジェンダー・ギャップ指数詳細は
こちら

	政治	行政	教育	経済
1位	東京	鳥取	広島	鳥取
2位	神奈川	福井	徳島	高知
3位	千葉	徳島	東京	東京
4位	大阪	福岡	富山	徳島
5位	山形	島根	神奈川	沖縄